

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山県立岡山一宮高等学校] 担当教諭名 [目崎 浩子] (ユネスコ部 13名)

交流相手国 [インドネシア]

海外学校名 [SMA Diponegoro 1 Jakarta] 担当教諭名 [Hesty Wulandari]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動	アートマイルプロジェクト	30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	文化と環境を考えよう
絵に込めたメッセージ	戦後70年を迎え、まず歩んできた歴史を振り返りたいと思った。そして、それぞれの国の代表的な風景や象徴を描くことで、これからも失いたくない大事にしていきたい自国を愛する心を表したいと思った。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決定するときに思考し、ディスカッションをしたことが、自国について気づくよい機会となった。 ・相手国の絵について調べることで、相手国から送られてきたメッセージをより深く理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国の通信環境が悪く、情報のやり取りは自己紹介でさえも困難であった。 ・フォーラムやメールでのやり取りが主になったが、代表者1人がやり取りするようになるので、全員が交流をした感じを得たとは言い難い。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
インドネシアについてほとんど知識のない生徒が多かったが、交流が始まってからは、インドネシアが TV や新聞のニュースで取り上げられるたびに、学校での話題にしていた。そしてかなり頻繁にニュースに取り上げられていることに気づいたようである。日本と経済的に強いつながりがあることを知ることができた。	今回担当を引き継ぐことになり、全てが初めてのうえに、日本が主導権をもってプロジェクトを進行すると聞き、大変不安に思っていたが、フォーラムの活用やジャパンアートマイルからの適切なサポートのおかげで無事やり取りができて、ほっとするとともに感謝している。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・フォーラムに写真と名前をアップする。 ・スカイプで自己紹介と壁画のレイアウトを行う。	交流に期待が高まるものの、ネット環境のためにスカイプでの会話が十分に行えず、残念な結果となった。その分メールのやり取りの回数を増やした。	部活動
テーマ学習	10月	・日本側でのテーマ決めをする。 ・相手側にテーマの提案をし、最終決定を行う。	テーマ「文化と環境を考える」というこちらの提案に、すぐに賛同してもらえたので一同喜んでいて。相手校がフォーラムに自国の民族衣装や祭典をアップしてくれたので、「自分達も」とはりきっていた。	部活動
構図決定	10月	・テーマをもとに構図を考える。 ・相手側に構図の提案をし、最終決定を行う。	テーマ同様、構図に関しても相手側がすぐにこちらの提案に賛同してくれたので一同ほっとしていた。	部活動
壁画制作	11月	・レイアウトの確認をし、描くものの紹介をフォーラムとメールで行う。 ・壁画の作成をする	レイアウト等最終決定をおこない作成に取りかかった。部員全員そろってできる日はなかったが、それぞれの都合を思いやりながら、分担を決め作業にあたった。	部活動
鑑賞・振り返り	2月 3月	・作品の展示、観賞をおこなう。 ・ビデオメッセージを作り相手校に感想を伝える。	相手校の描いてあるものに興味を持ってインターネットで調べた。富士山と対をなして描いてある山が富士山に見え「なぜ？」と、意思の疎通ができていなかったと残念がっていた。しかし、相手校に問い合わせるとインドネシアにある山だということがわかり、あえて富士山に似た山を選んで描いてくれたことに思いやりを感じよこんでいた。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	テーマを考える際におこなったディスカッションが一番の学習になったようだ。相互に気づきを促し、現状を理解することができた。
異文化の理解	A	4	YouTube にアップしている、相手校の素晴らしい学校紹介のビデオに興味を持つ一助となった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	ネット環境が悪く思うような交流に至らなかったが、事前の準備段階やスカイプの代わりにメールを多用して英語を発信する力が養えた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	書籍、インターネット、ビデオ、Eメール等、身の回りの物をうまく活用できた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	部内で兼部の生徒が多いため、特定の生徒への負担増は避けられなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	必要な仕事を洗い出し、部員それぞれの都合を考え、適する分担を考え、事に当たることができた。
学習を追究する意欲	B	3	必要な事はするが、それ以上のことを深めようとする様子が見られなかったように思う。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	3	相手にもすぐに理解してもらえるものをあえて取り上げたようだが、もう少し工夫の余地はあったように思う。
作品を鑑賞する力	C	4	相手文化のことを調べポスターにし、部員以外のものが見ても理解できるように工夫した。